

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『短縮版朝型夜型質問紙(rMEQ: reduced morningness-eveningness questionnaire)の日本語版作成に向けたバリデーション研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2017年7月6日より2023年3月31日までの間に、睡眠・覚醒障害研究部で「社会的ジェットラグのリスク要因に関する横断的調査研究」の研究に参加された方

【研究期間】

2023年3月1日より2025年3月31日まで

【研究代表者】 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部
北村 真吾

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部
北村 真吾

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

研究名称: 短縮版朝型夜型質問紙(rMEQ: reduced morningness-eveningness questionnaire)の日本語版作成に向けたバリデーション研究

利用目的: 睡眠のリズムや日中のパフォーマンスが最大になるタイミングなどは、主に体の中にある体内時計によって制御されていますが、体内時計には個人差があり、朝型や夜型といったように分類されることがあります。この分類はクロノタイプと呼ばれ、個人のクロノタイプは朝型夜型質問紙(MEQ: morningness-eveningness questionnaire)によって調べることができます。しかしながら、MEQは質問項目が多く、回答の負担が大きいという問題があります。このような状況に際して、MEQの中の数個の質問項目のみを使用する短縮版MEQ(reduced MEQ)が提案されていますが、精度が確認された日本語版は存在しません。本研究では、過去に上記研究において回答いただいたMEQのデータを利用して、短縮版朝型夜型質問紙(rMEQ)の日本語版の精度を検証することを目的としています。

利用方法: MEQ回答データからrMEQの質問項目に該当する部分を抜き出し、疑似的にrMEQ回答データを作り出します。疑似rMEQ回答データとMEQ回答データを比較検討することにより、rMEQ

作成年月日： 2023年 2月 27日 第2.0版

によってクロノタイプが正確に評価できるかどうかを検証いたします。

研究体制：本研究では、解析結果の解釈を検討するために、統計解析情報を労働安全衛生総合研究所に提供し、研究助言を受けます。当該データは集計・統計解析後のデータのみが含まれ、個人を識別可能な情報は含まれません。情報の授受には、日本マイクロソフトのMicrosoft 365 (OneDrive, SharePoint)または暗号化 USB・HDD を利用します。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：該当なし

情報等：研究データ(年齢、性別、朝型夜型質問紙(MEQ:morningness-eveningness questionnaire)の回答データ)

利用する試料・情報の取得の方法

試料：該当なし

情報：研究データから入手

【共同研究機関】

該当なし

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

該当なし

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
所属 睡眠・覚醒障害研究部 氏名 北村 真吾

電話番号

e-mail:s-kita※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)